

ふりかえれば そして明日へ^{あした}

千代田町文化祭
米まつり

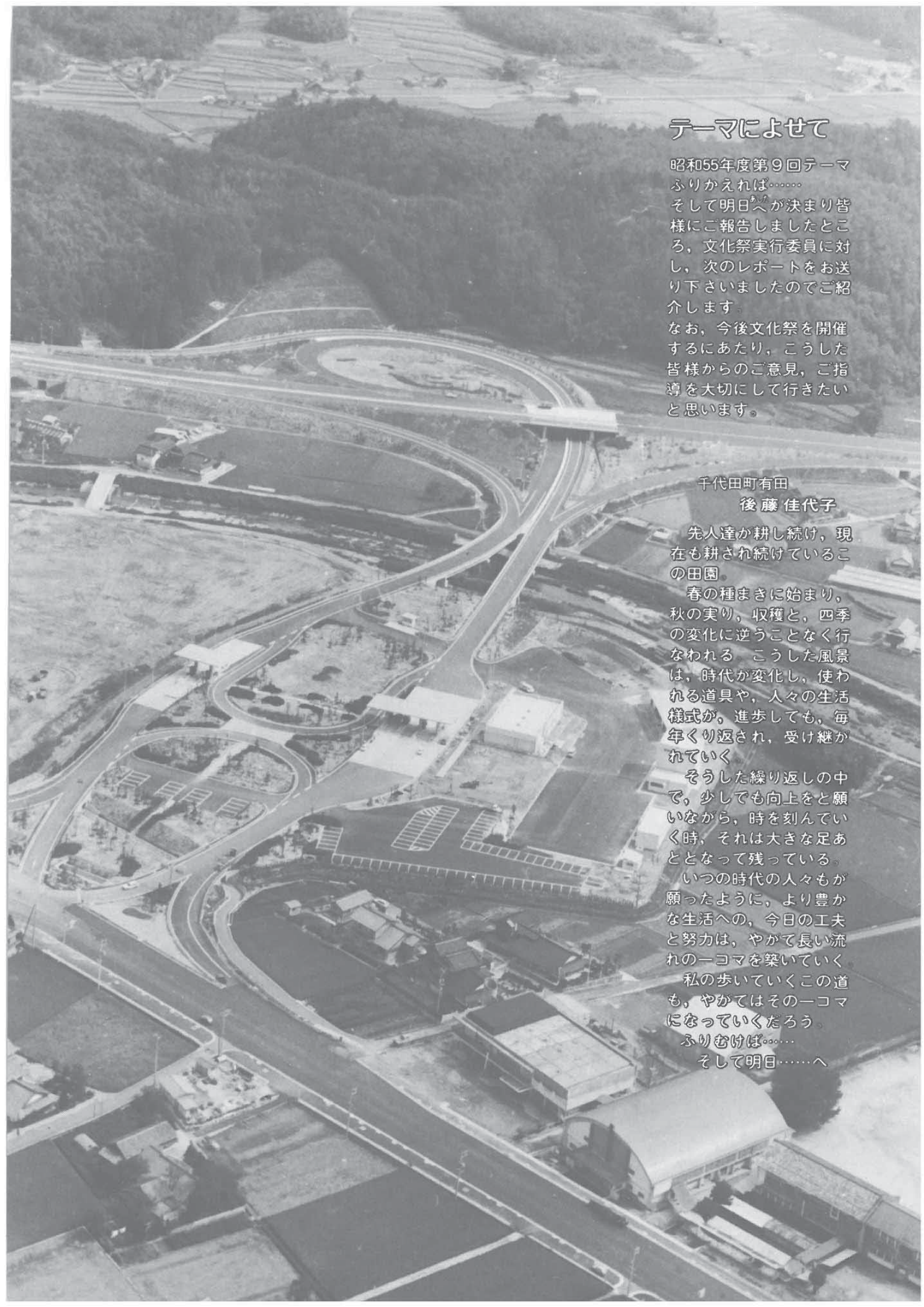
文化祭 10月25日～11月3日

米まつり 11月2日・3日

主催

文化祭 千代田町青年連合会・千代田町中央公民館

米まつり 千代田町・千代田町農業協同組合



テーマによせて

昭和55年度第9回テーマ
ふりかえれば……

そして明日^{あした}が決まり皆
様にご報告しましたとこ
ろ、文化祭実行委員に対
し、次のレポートをお送
り下さいましたのでご紹
介します。

なお、今後文化祭を開催
するにあたり、こうした
皆様からのご意見、ご指
導を大切にして行きたい
と思います。

千代田町有田

後藤 佳代子

先人達が耕し続け、現
在も耕され続けているこ
の田園。

春の種まきに始まり、
秋の実り、収穫と、四季
の変化に逆うことなく行
なわれる こうした風景
は、時代が変化し、使わ
れる道具や、人々の生活
様式が、進歩しても、毎
年くり返され、受け継が
れていく

そうした繰り返しの中
で、少しでも向上をと願
いながら、時を刻んでい
く時、それは大きな足あ
ととなって残っている。

いつの時代の人々もが
願ったように、より豊か
な生活への、今日の工夫
と努力は、やがて長い流
れの一コマを築いていく

私の歩いていくこの道
も、やがてはその一コマ
になっていくだろう。

ふりむけば……

そして明日……へ

千代田の核づくりイラスト案内

- ⑦ 中央公民館
- ⑥ 体育館
- ⑤ 福祉センター
- ④ 山振センター
(文化センター)
(機能を含め)
- ③ 救急病院
(千代田植物園)
(おひ公園)
- ② 中央公園
(野外ホール)
(常設青空市場)
(フィールドアスレチック)
(コーナー)
- ① ショッピングセンター
(バスセンター)
(金融機能含)
農業センター
(千代田町農協)
" 農業研究所
" 農産物加工場



《文化祭》

昭和55年度文化祭実行委員長

千代田町青年連合会

会長 西原俊行

千代田町中央公民館

館長 増本利明

ふりかえれば……

霧の暗闇に風化した白骨が見える。

確かにここに人が生きていた。

ここで人が働き、笑い、泣いていた。

彼らは何を考え、何を夢みたのだろうか。

彼らはこう考えた。

明日はきっとよりよき日にしたい。

いい日にするために努力しよう。

そして、そこには

血のにじむような苦勞があったに違いない。

その血がしみこんだこの丘に

彼らの魂はまさに生きている。

私達は今また考える。

明日こそはよりよき日にしたいと。

他から与えられたものでは、

何も変わらないことに気づいた今、

私達は手を取りあって、

かつてここに生きた彼らと同じように

血と汗とを流し、

今日を創造し行動していくのである。

子や孫達にすばらしい日がくるように、

すばらしい未来を創るために。

やがてこの緑の丘に日が落ち

この澄んだ空に星をちりばめ

私達の今日が終り、

そして、明日へ

第9回の文化祭のテーマとして「ふりかえれば……そして明日へ」と定まり、盛大に催される事になりご同慶に存じます。

千代田の私達、このすばらしい自然の恵みの中で、父母をはじめ多くの人々の温かい慈しみによって育ち、そして今日があります。

しかし、多様化する今日の情報化社会では、何か大切なものを見失いそうな気がします。祖先が知恵と尊き体験をとおして、つくり出し、伝え遺してくれた誇り高き千代田の歴史と伝統があります。

この歴史の中から導き出される我が郷土を今一度じっくりとふり返り、見直す事によって、何かが訴えられ、それが私達の生活の営みとして、より高く、よりうるおいのある充実したものに発展されなければなりません。

その営みこそ、明日へつながる美しい明るい新しい千代田の文化の創造と思えます。

最後に、青年会の皆さんをはじめ、町民各位のご協力により意義深い文化祭にもり立てて戴きました事を衷心よりお礼申上げご挨拶と致します。

米まつり》

(示選)

千代田町

千代田町農業協同組合

町長 井上一位

組合長 池神吉磨

— 読育村 —

— 読育村 —

農政の推進につきましては、平素より格別のご理解、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

本年は、明治2年以来といわれるような我々が経験したことのない冷夏、長雨の異常気象に伴う冷害に見舞われ特に農作物の被害が甚大でありまして農家各位のご心痛余りあるものと察しております。町といたしましてもその対策については、格段の配慮をもって施策を行いたいと思っております。

当面する農政の最大課題でありますところの米の生産・需給均衡化対策については、最近における深刻な需給事情に鑑み、55年度米におきましては、水田利用再編対策に係る転作目標面積の増反改定が行われました。本町においても例外でなく、232.2haの転作目標面積が指示されましたが、農家各位、並びに関係団体のご理解とご協力によりまして、目標面積が達成出来ましたことは、偏に感謝申し上げます。次第であります。

さて、昨年、広島県農業祭が本町において開催され盛会のうちに終了しましたが、本年は、千代田町と千代田町農業協同組合との共催によりまして「おいしい千代田米を、テーマに町民が皆で楽しめる祭りとしての「米まつり」を開催することといたしました。いうまでもなく、米の消費拡大は、水田利用再編対策とともに米の需給均衡を図る重要な柱であり、また良質米生産とも表裏一体のものであり、この祭において生産コーナー、消費コーナーを設けており、米の消費拡大と農業振興の一つの指標となれば幸いです。

千代田町の農業生産の基幹となるものは米です。現在、国内で米の過剰が問題になっています。余っていることは現実の問題として、どう対処してゆくかということと、米づくりが罪悪のようにいわれることは自ら視点が違うと思いますし、日本人が米を主食としている限り千代田の米づくりは続きます。消費者からも期待されています。それは大分以前から米の正米市場がある頃から、千代田の米はおいしいことと量生産があるので流通面でも合っているからです。

生産について良質米は困難なことも多く、経済性についてもいろいろ意見のあるところですが、消費者のニーズに合ったものをつくることに異論はないと思います。たまたま私共の経験したことのない異常気象にあいその対策におおわらわですが、このことに負けることなく良質米生産意欲を盛りあげてもらいたいものと存じます。

消費者の皆さんも、おいしい千代田米を一層お引立て下さい。

日程と会場のご案内

《展示》

10月25日～11月3日 (9:00～16:00)

——中央公民館——

2階

大会議室 愛書 楽書 写真 ろうけつ染 一般出品作品 青年展示 生活学校	展示室 ACC 一般作品展示 はり絵 青年展示	学習室 一般出品作品 老人作品
	将棋クラブ 文化資料室 やきものクラブ 地方史研究会	囲碁クラブ 視聴覚教室 農事相談コーナー 11月2・3日 基盤整備●

1階

小会議室 アマチュア無線	調理実習室 バザー準備	図書室
明るい選挙ポスター入選者発表 交通安全パネル		バザー
機械室	青年展示 礼法室 茶道 11月2日 菊花	事務室 子ども文庫交換 11月2・3日 菊花
	玄関	

《催し・発表会》

——体育館——

(文化祭)

10月26日 13:30～
千代田を考える集い

10月27日 19:00～
音楽の夕べ

10月28日 19:00～
映画の夕べ

10月29日 19:00～
コンサートの夕べ

10月31日 19:00～
民謡の夕べ

11月1日 19:00～
文化講演会

11月2日 9:00～
当日祭

(米まつり)

11月2日 17:00
町内神楽発表会

《米まつり》

11月2・3日

——町民グラウンド——

〈農事相談〉

- ◎生産 農機具の変遷展示ほか
- ◎消費 加工食品展示ほか

〈各種催しもの〉

もちまき・ポッカン菓子・薬製品即売市・酒試飲・スピードガン
牛乳のみ放だい・青空市場・各種バザー・とり入れ広場など



展示の部



生活学校

兼定 一枝

「ふりかえれば……そして明日へ」何と云う言葉でしょう。希望に満ちてどこまでもすくすくと伸びて行く可能性を一ぱいに含んで。しかも謙虚に自分の足跡、来し方をかえりみながら新しい道を求めて前進しようと努力する美しいすがたではないでしょうか。

私達生活学校も中央公民館活動の一部として、昨年10月末より仲間に入れて戴き、物心両面からのご指導とご協力のお蔭で今日まで歩んで参りました。

今年から文化祭に初参加させて戴きますことを心から感謝しております。

今年度は、「公害問題を含めて正しい食生活」を中心に有機野菜の栽培法、ゴミ処理の問題などを学習致します。

身体を健康を保ち、明るい社会にする為には、いろいろな事を学習して知りそしてできる事から実行することです。一人の力でできない事は、みんなの力をよせ合って大きな力にすれば、環境や社会を住みよく変えていく事もできます。これが生活学校運動なのです。

「せめて我が家の食卓には無公害の食品を、そして、次代を担う若人たちを健康に育てようではありませんか。

この趣旨に賛同して入学したいと思われる方は、いつでも中央公民館へお申し込みください。

会員みなさんでお待ちしています。



アマチュア無線

三宅 三郎

アマチュア無線は「趣味」の一つに過ぎません。しかし趣味のために「資格」が必要なのは余り例の無い事です。これも不法電波を出さないという法遵守のためには止むを得ぬ措置です。

資格を得るには、国家試験合格と認定講習会修了の二本建です。本年2月千代田で講習会が開かれました。厳寒の雪の中を正規時間ビッシリ受講され意志の強さに敬服です。そして修了試験を受けて多数の方が合格されました。国試も講習会も、合格してみるとつらさも忘れます。

この世界にも、他と同じくいろいろと楽しい分野が開けています。興味ある人は、この趣味をも加えて、人生の巾を広くされますようおすすめ致します。



やきものクラブ

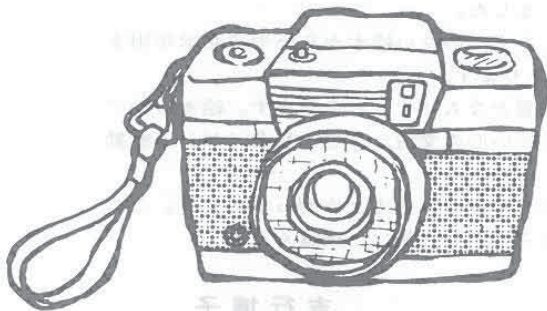
富田 一男

不器用だからなどと思わず一度見学がてらのぞいてみて下さい。不器用な手で作った作品が、案外味わいのある良いものが出て来ることがあります。

やきものクラブに入って良かったと思う事は、名陶の作品のよさが少しづつわかりだした事です。

絵画をされる方が抽象画に感動されるのと同じではないかと思ひます。興味のある方、気軽においで下さい。コミュニティー活動の一つです。楽しくやってみましょう。

活動日 毎月第2、第4月曜日 会費 1か月 1,000円



写真クラブ

輪田 辰雄

今、求められているものに記録でありニュース写真があります。芸術と言うのでなく、誰にでも写すことの出来る写真こそが、求められている答ではないでしょうか。

普段の生活のうちに、その姿を写真として、記録することに意義があり、写真としての文化が生れるようです。

各種の新聞や機関紙等の広報にも写真が要求されています。

町内外とも急テンポで変化しつつある姿を写真に撮りませんか。

日々の生活もよい写真のモデルになりますよ。

写真クラブも若者の手によって再生される時が到来しています。ぜひ写真クラブの活動の原動力になってもらうことを期待してやみません。

A C C

対馬 竜二

私達は、絵画クラブとして活動しているアーティスト・クラブ・チヨダです。別名、頭文字をとってACCと呼びます。

私達は、千代田に住みお互いが自分の仕事を持ちながら、週2回の定例会には中央公民館へ集まり、絵画活動にいそしんでいます。

私達にとって絵を描くことは、楽しい時もありますが、時には自分自身を厳しく見つめ直さねばならぬ時もあります。自分とは何かを考える部分が意外と大きいと思ひます。

絵画と人生観、この結びつきは切っても切り離せないものがあるのではないのでしょうか。

毎週、月・水の定例会、時間は午後八時から10時まで、私達の活動に関心を持たれる方。ぜひおいで下さい。



〈千代田町ものしりクイズ〉

問 千代田町役場附近の標高は約何mですか。(イ)246m (ロ)271m (ハ)312m



ろうけつ染 幸家主

村上幸子

「この世で自分だけの物を作り出す」あなたもこの喜びを味わってみませんか。自分の手で染め、自分の手で作り出す。この世に二つとないいろいろな品物。

ローを洗い落した時の胸のワクワク「どうなっているかな」……しばらくして「今度こそいい物を作るぞ」と深く決心しイヤ又くり返しかも？ でもいずれば「希望は大きく」。

皆様も気楽に月2回自分の手で世界で一つの物を作り出してみませんか。御主人にはネクタイ、愛情プレゼントたまにはいいと思いませんか。

楽書

沖田義範

「好きこそものの上手なれ」と言う諺がありますが、私達の集いは「下手の横好き、でも結構、自分なりに自分の字を書いて、それが他人には、「落書」にしか見えない字かも知れませんが、精一杯の力で文字を書くことがこの同好会の目的です。

隣の席では上手に書く人がおられても、それはその人の持って生れたものであり、その人の努力の結晶でもあります。

下手な人は下手なりに、基礎から習いはじめ、ある程度基礎の出来た人は又次の段階にと進み、自分のペースで学習してゆくことが大切なことではないでしょうか。

楽書会は同好会であり、お互に研さんする場所です。

先生と生徒が一体となり、書を通じて親睦を深めてゆきたいと思えます。

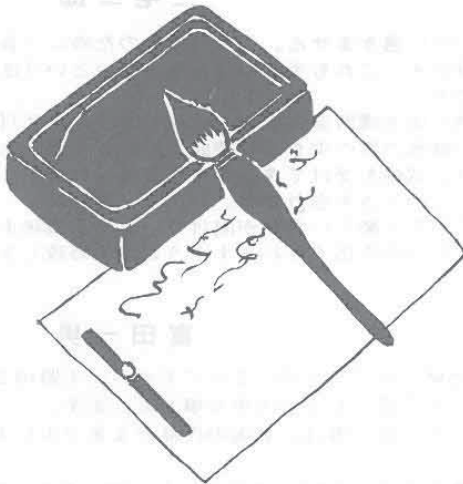
愛書

大橋賢

長年にわたって書道クラブのご指導を賜った、吉川先生がご都合により退任されました。クラブ員一同感謝申し上げます。

新年度より増広先生を講師として従来通り毎月第1・第3水曜日午後8時より2時間を学習日と定め、正しく美しく、をモットーとして書を愛し、書を生きがいとする人達の学習を広める会として、愛書家の方々が何時でもご自由に入会出来る愛書クラブとして新発足しました。

入会ご希望の方は公民館へお問合せ下さい。現在継続者23名学習しています。



こども文庫

鷹野主照波

これまでボランティアの方々を始め各方面のご協力を得ながら進んできた幼児文庫を「こども文庫」と改名しました。

こども文庫には乳児期を対象とした文字のない絵本から小学校高学年用まで、1,600冊の本が巾広く用意してあります。

こども文庫の大きな目的は、情操豊かな人づくりにあります。絵本の中で遊ぶことによって、母と子のあたたかい心の交流、自然や社会に対して感動する力を養えると言われます。

こども文庫がより多くの子供達の手で開かれますよう願っています。これまでご存知なかった千代田のお母さんぜひ公民館にご相談ください。

読書会

吉行博子

振りかえることは余りしたくない。しかし、時には振りかえてみることも大切ではないかと思う。

中央公民館の開館に伴い同年10月28日に読書会を創り、爾来未知の世界を求めつづけて9年6か月になろうとしている。

はからずも不思議なご縁で、小山敦子先生との出会いがあり、「たのしい源氏物語入門講座」を、公民館の文学講座として、一般の方々への呼びかけをもとに、開講してもらったことは此の上ないよろこびであった。

日本古典文学を、事実にもとづいて、歴史的に解明され、王朝時代を偲ぶとともにソフトでユニークなこの講座は一生涯忘れられない。

どうやら少しずつ目標に近づきつつあるのではないかと思う。

なにげない路傍での一人の人との出会いと語りから、会員の協力で今日の読書会への発展したことを思う時、唯々感無量である。



展示の部

家庭園芸教室

土作りから、野菜、花づくり、盆栽から米づくりまでを、毎月一回、改良普及所井上先生の指導で、野菜作りの失敗、成功談等、気軽に話し合いながら楽しく学習しています。年二回の研修旅行では、野菜作り農家を見学、又植物公園、園芸指導所等では現地での指導も受けます。

今年は菊花づくりを試み、土づくりから始め、悪天候でしたが、どうにか展示出来るまでに出来上がりました。



地方史研究会

美濃豊泰

ことしの2月から千代田地方史研究会を発足させました。この会は学者や専門家の研究集団とはちがって、会員の間が、さまざまな職業をもちながら、そのなかで千代田の歴史に関心を持ち、私達の血のつながった歴史を、私達の手で、しっかりと確かめてみたいからであります。発足してこれまでに、とりくんだ主なものは、浜田街道往還筋と一里塚の確認。本地、中山両宿場。駕籠や飛脚の飛んだ街道から、人力車から自動車の広島、浜田間県道の開通による地域の変遷。町内の地名の由来考察。寺原、余谷両城の史跡と史実。古文書解説、都志見往来日記（寛政丁巳、岡崎山）。国都志（文政2年山県郡書出帳）。などであります。今その内から整理して「会報」1号を発行しておりますので、この機会にご一読をお願いいたします。私達は多くの町民の皆さんの中に伝承しておられる無数の生活の唄から、昔話にいたるものと史料や史実の一つ一つをだいじにしてゆき、これを無限の源泉として、もっと千代田の歴史を研究し、現状を分析し、千代田の将来の生きる方向につなげたいのであります。



将棋クラブ

三谷盛夫

毎月第1第3土曜日午後6時半から9時迄、中央公民館で試合指導講評等が行われています。多数ご入会下さい。

今、将棋人口は1,500万といわれています。職場の昼休みなどで折畳式の盤で勝負三昧に耽ける人が多くなった様です。将棋には哲学と創造があり、頭の訓練にもなり趣味としてよいものと思います。

朗報

山県郡老人クラブ将棋大会が7月加計町で開催され、郡内各町村から2名宛出場試合があり、当クラブ三谷盛夫氏が優勝10月下旬東京都で開催の全国大会に出場が決定しました。



囲碁クラブ

板谷正行

囲碁と人生は極めて深い関係がある。碁盤の目盛りは1年を型どり、四角は春夏秋冬を表現し、天元や星は、太陽や月を示し、黒白の石は善悪明暗を意味している。変化無限の烏鷲合戦はそのまが人生の縮図と云える。囲碁の実戦には、切る、生きる、死ぬる、当り、征等々物騒なことばがあるのは、生活戦線のいかに真剣であるかを物語っている。対局について、態度や心構えには数多くの教訓があるが、「彼を攻めるには我を顧みよ」の囲碁十訓の一つがある。己れの実力を知り不相応の欲望を禁じ、地味な歩みを要求する。常に自らをかえりみ終局の勝利と平和を求めているのである。「ふりむけば、そして明日へ」の今期文化祭のテーマこそ人生生活の指針でなければならない。



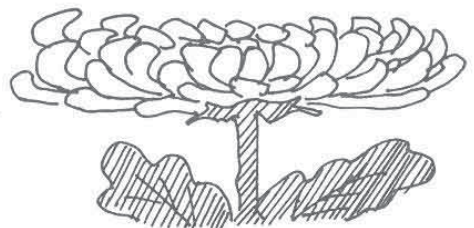
菊花同好会

菊の便りが聞かれる季節。大輪、懸崖、文人づくり……。

各地の菊花展で誇らかに、農家の庭さきでびっそりと日本の秋を象徴する菊の花。

丹精こめた菊が、馥郁たる香りを庭いっぱい漂わすとき、作った者のみが知る喜びでありましょう。

今年も、私たちの作った菊の一部を陳列して、文化祭にいろどりを添えることになりました。みなさまのご鑑賞をお願いいたします。



〈千代田町ものしりクイズ〉

問 千代田町には、いくつの神楽団がありますか。(イ)12団体 (ロ)16団体 (ハ)18団体

催し・
発表会
の部

10月26日午後1時30分より

10月27日 午後7時より

千代田を考える 集い

形式 パネルディスカッション

ご出席 町長 井上一位
(登壇者) 議会議長 福光重季
農協組合長 池神吉磨
商工会長 上川竜男
教育長 増本利明
(敬称略・順不同)

司会・助言 広島経済大学助教授
赤星光路先生

趣旨 各分野で活躍中の皆様をまじえて、町民やみなんで自分達の住む町を考え、明日のある町づくりをすすめようという気持ちで企画しました。皆様の参加をお待ちします。



解説 (ハ)18団体

音楽の夕べ

楽団ふるさと



曲目演歌、軍歌、最近の唄、レパートリー1,500曲
出演文化祭、建友会、老人クラブ、演芸会、企業記念行事、RCC、NHK、老人ホーム

団長山手隆則	アコ	松原義則	ドラム
村上昭	(サクソ)	渡辺恵一	ギター
前原哲三	〃	伊藤敬之	ベース
高下忠徳	〃	金子勲一	ボーカル

結成昭和53年5月

練習毎週土曜日山手宅で練習

趣旨町内に住む音楽を愛好する者同志が山手宅で練習を始め、お互の親睦と町内行事に花を添える意味で続けております。今後は団員も募集してますます充実した楽団にして行きたいので愛好者は申し込み下さい。町内行事や祝い事には喜んで参りますから申し付け下さい。



1.1.8 (ワン.ワン.エイト)

1.1.8は結成して、三年目を迎えました。公民館活動を行っておられる各グループの理解を得? 練習にもますます熱が入ってきた今日この頃です。

昨年は、RCCラジオ出演連続2回を皮切りに、八千代町に2回、甲田町、可部町に各1回ずつ計6回出演することができ、定例のミニコンサートも3回開くことが出来ました。

新しく、パーカッションの森脇君、ミキサ一の半田君、それに紅一点梅尾さんを加え計7人となりより一層音楽の幅を広げる事が出来ましたが、いろいろと反省点もあり、それを生かしてこれからの活動を行う上でも励みとしたいと、メンバー一同張り気っています。これからも、町外での演奏を積極的に行い、それと並行して従来通りのミニコンサートを2~3回予定しています。

1.1.8の練習日は、月・金の夜7時から10時まで公民館の視聴覚室で行っています。

又つやひよのひ演出尹手

10月28日午後7時より

10月29日 午後7時より

映画の夕べ

コンサートの夕べ

脚本・監督
新藤兼人

竹山いと旅

生きることへの執着が
生んだ竹山の音

この映画は、津軽三味線高橋竹山のドラマである。自ら放浪芸人と名乗っている竹山の、若き日の姿を、ドキュメンタリーふうなドラマとして描く。

底辺の人間と人間との、つながりを求めて歩きつづけた竹山の足跡は、野の中に生きつづける庶民の歴史のなかに鮮明である。

高橋竹山、いま、65才。としを増すごとに、いよいよ冴える芸境は、どこにその秘密があるのだろうか。野の風がきたえたものか、生きることへの執着が生んだものか。

いずれにしても、雨や風や雪のなかで、太ぶとしく、あすに向かって歩きつづけたにちがいない。

高橋竹山を生んだ津軽の風土。竹山の少年時代。そして放浪の青春。それを詩と真実でとらえたい。



〈千代田町ものしりクイズ〉

問 現在、千代田町では1世帯当たり平均何人だと思われませんか。(イ)約2.8人 (ロ)約3.5人 (ハ)約4.1人

洒落

〓広島・呉・岩国を中心にコンサートツアー真っただ中。

千代田町の皆さん初めまして洒落です。今回、千代田のステージにたてると聞いてメンバー

同大変喜んでます。千代田に着いたらまず何をしよう？ 松茸とイノシシの肉の入った鍋でもつつきながら地酒で一杯。こんな話で持ちきりです。

それはさておき今回のステージもバックバンドの連中と100%焼えつきるまで洒落のサウンドを聞かせます。洒落にもらった45分間、僕達は精一杯プレーします。皆さんも洒落の世界へ飛びこんで下さい。

- 第19回 POPCON(ポプコン) 中国本選会出場 グランプリ
- 第20回 POPCON(ポプコン) 優秀賞
- 第19回 POPCON(ポプコン) つま恋本選会入賞



星の輝きより……
新鮮な朝を待っているポップス

土田悦治

〓広島の犬、千代田へ又々出没、千代田町の皆さんこんにちは、土田悦治です。今年の七夕コンサートのステージにゲストとして呼んでいただきありがとうございます。あの時はなんと90人近いお客さんに囲まれ、夜遅いにもかかわらず大半の方が最後まで熱心に聞いていただき心から感謝しています。

とにかく前回のステージに負けないう、このステージに自分の眼帯をぶっつけたいと遠路はるばる広島から生ギター一本かかえて、大朝行きバスでかけつけて来ました。今宵は僕の生活に密着した生の歌を聴いて帰って下さい。

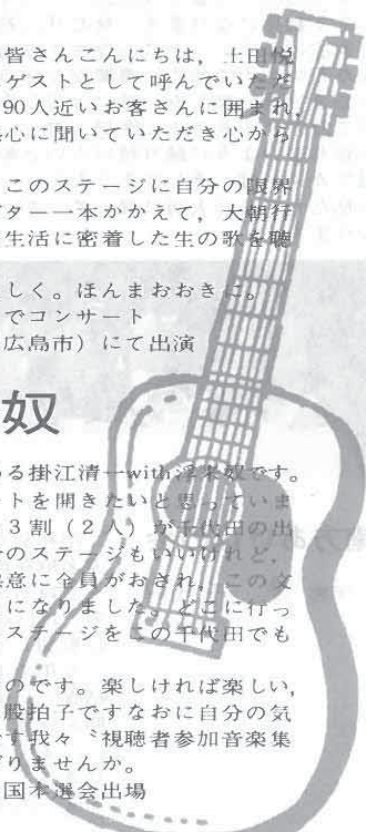
- それでは〓広島の犬、こと土田悦治をよろしく。ほんまおおきこ。
- 毎週日曜日の午後から並木通り(広島市)でコンサート
- 毎週金曜日夜、ライブハウス・オカッパ(広島市)にて出演

掛江清一 with 浮来奴

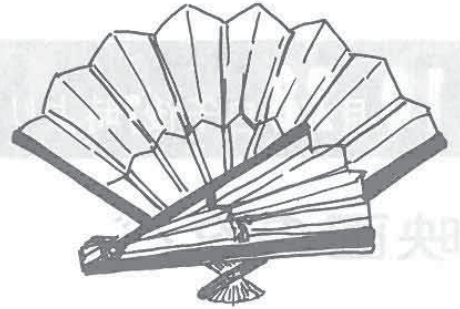
皆さん始めまして、ステージのトリを務める掛江清一with浮来奴です。我々はおかねてから千代田で是非一度コンサートを聞きたいと思っていました。と言うのも我々メンバーのうちなんと3割(2人)が千代田の出身者なのです。連中の話によりますと「都会のステージもいいけれど、自分の郷土で是非錦をかざりたい」と言う熱意に全員がおされ、この文化祭のステージに1も2もなく出演することになりました。どこに行っても僕達のハッピーなサウンド、ハッピーなステージをこの千代田でもまげることなくマイペースでプレーします。

とにかくいつもの我々を見て聴いてほしいのです。楽しければ楽しい、うれしければうれしいと手拍子足拍子、又は股拍子ですなおい自分の気持を發現してみませんか。最後のステージで我々〓視聴者参加音楽集団(掛江清一with浮来奴)と一緒にもりあがりませんか。

- 第19回・第20回 POPCON(ポプコン) 中国本選会出場
- レコード各社協賛社賞



10月31日 午後7時より



民踊の夕べ (出演順に紹介)

八重西婦人会民踊クラブ

代表 坂本伊勢子



私達グループは、婦人会のグループ学習の一グループとして生まれました。広島県民踊の師範小林広勝師匠の指導を受けて2年、現在会員14名と少人数ではありますが、精神年齢は20才にも劣らない気持の若い会員で、とても明るく、楽しいグループです。

月一回のお稽古日(昼)と会員だけでする最低月1回の(夜)のおさらい会をなによりも楽しみとしてお稽古を重ねております。会員相互の親睦といままで健康でスマートでありたい、そのためには出来るだけ全出席して踊って、しゃべってをモットーにしています。

私達が今民踊を始めて良かったと思う事は、自分達が楽しみながら、決して上手とは云えないが、この踊が少しでも地域の皆様(敬老会、お盆、お祭り等で)に喜んでいただける事です。これから踊って、しゃべって精進いたします。

八重中央婦人会民踊教室 代表 河野文香

昭和42年7月八重中央婦人会民踊教室として発足以来13年、最初は19名、その後仕事や家庭の事情でやめた人、又新しく入会された人で現在15名です。

民踊は楽しみながら体を動かし頭を働かせ老化を防ぐには良い事ではないでしょうか。

私達の会も年は重ねているけれども、習っては忘れ、忘れては習うくり返して、演技はともかく皆さんの気力をも併せて見ていただきたいと思えます。



石井谷民踊クラブ 代表 吉原サツミ

おなじみの千代田音頭に唄われているように 昼も夜も伸びる千代田町 心豊かな町民 そんな中に私達の民踊クラブが出来て数年になります。身心共に若さを保ち老化を防ぎ和の心を広げよう——とこんなささやかな願いを求めため家の人たちの協力で始め、農繁期を休み、毎月夜2回ぐらいの集い心とけ合い楽しみ、時には苦しみ我を忘れ時の経つのも忘れて熱中する此のふん囲気、幸せ一杯の笑顔、感謝の気持ちを忘れないように踊り続けたいと願っています。

振りかえれば、そしてあしたへ……と云うテーマを味わいつつ私たちの心に大切に育って、クラブの糧にしたいと思っております。



輪「和」 県民踊本地支部 代表 中村ミヨ子

唄があって輪があって踊りがある。私達の民踊グループはその輪の上に立って楽しみながら広がって行く、今日も又忙がしさの中から集り踊り語ろう。楽しさとは何? 踊りを愛して皆んなとけ合うこと。忙がしさとは何? それは生活の苦しきみであり今をふりかえる一時であろう。集いとは何? それは明日へ広がるもの、華やかでいきびしいもの、美への喜びを受けとめることの出来るグループであることを誇りたい。現在会員27名良き指導者を得て4年の歳月がすぎようとしています。家庭の事情や健康状態で全員が集うことはむづかしくても、それ等をおぎないかばい合って頑張っている私達です。



南方あけぼの会

代表 原千代子

昭和52年12月会員8名で南方民踊クラブとして発足。花柳流名取花柳広千沙先生(沖野靖子さん)の御指導のもとに年々会員も増え熱意ある皆さんのお蔭で楽しく練習する事が出来、地区の敬老会を始め老人ホームの慰問等いろいろな行事に参加しております。

今年の1月、地区の皆様方の暖かい御支援により後援会を結成し、南方あけぼの会と改名、現在会員10名で春秋の農繁期を除き月に3回、趣味と実益を兼ねての美容体操をモットーに、多忙な日々の中に少しでもうるおいを願って会員一同はりきって一層精進致しています。希望者はいつでも入会できます。沢山の入会をお待ちしております。



十日市民踊クラブ

代表 中川 須美代



十日市民踊クラブは、43年頃より小林先生を迎えて始まりその当時は10名余りのグループでした。現在会員24名になり八重東婦人会の民踊クラブになっております。クラブ員も初めは30代、40代の若さでしたが現在は平均年齢48才になっております。途中止める人はなく月1回の練習日をたのしみにして老いた者は老化を防ぐため頭を働かし体を動かして、ますます若い人につれられて張り切っております。

いろいろの発表会の時はみんな心をつなげて教えたり教えられたりして人と人の心のつながりが出来て親姉妹以上に親しさがありとてもたのしい雰囲気グループだと思っております。一人もやめずに続いたと云う事は立派な先生に恵まれた事と上手下手を云わずに無理をせずに来た事だと思っております。これからも体の動く間はみんなで励ましながら続く事だと思っております。

中春木民謡クラブ

代表 横田 八重子



中春木民謡クラブと一応申し込みましたが実はまだ発足して7か月、名前も決めていない私達グループで

ございます。55年3月発足、月2回、人員は三宅八重美、増田良子、横田八重子、以下17名。お蔭様で全員たのしく明るく、一生懸命励んでおります。去る六月未熟な私達でしたが老人ホームに参りました。よろこんで下さったお年寄りを見て此の会を始めてほんとうによかったと思えました。体の隅々まで動かす健康作り人間関係の薄くなりがちの今の社会人の和も此の会を通じて出来ると思えます。細く長くをモットーに頑張っていこうと話しております。

壬寿々会

代表 亀宝 智枝

昨年4月に発足して今日に至っています。会員は現在15名です。

稽古は毎月第1・第3水曜日で壬生支所の二階を借りて10時から12時まで行なっています。

広島から花柳美寿弘先生をお迎えし、指導を受けています。健康体操と、美容体操の積りで始めました。

皆んな、なごやかな雰囲気の中で、時のたつのも忘れ、楽しく、そしてお互いの心のふれ合いを、強く感じながら頑張っています。

ほんの僅かな時間ですが、小さな幸せに浸っています。

皆さん気軽に輪の中に入って、一緒に踊りましょう。



県民踊協会千代田町東支部

幹事 細山シズ子 新保節代
三須恵美子 細本敏秋

本年のテーマ「ふりかえれば——そして明日へ」は、町の政治経済文化の現状を最も端的に捉えた町民の実感ではあるまいか。ふりかえり、そして前へ進む、又ふりかえり、そして又前へ進む、そうした繰返しのなかに、根づいた文化の創造ができるのではあるまいか。

私達も会を形作って3年、気持のうちでは、翔んだり、燃えたり、又ふりかえり、そして又、少しでもコミュニティの輪を広げたいものと小さな活動を続けています。

下川東老人集会所を中核として川西、上川東会館を持廻り会場として各地区から、男性を含めて17名が参加し張切っています。老若、性を問わず上手下手を問わず多くの参加を望んでいます。それは、私達は同好会的感覚を除いて、先ず参加する事に意義を見出しているからです。

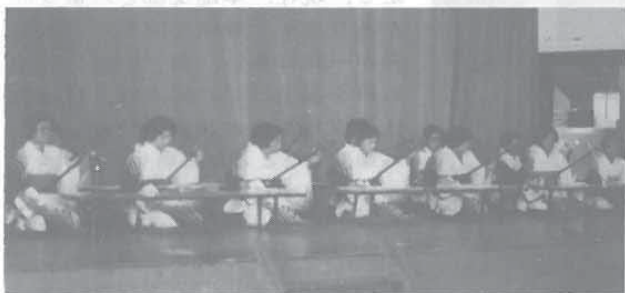


川戸民踊クラブ

代表 高橋 祥子

川戸民踊クラブは、発足してまだ日が浅く未熟でございます。

日頃何かと仕事におわれている私達は、月1回の練習日を楽しみに、又大切な時間にしております。楽器演奏、銭太鼓、三味線と勉強しています。舞踊も、レコード替りに三味線をバックに頑張っております。はたして皆様のご鑑賞にこたえる事が出来ますかどうか、クラブ一同一生懸命つとめます。今後ともよろしくご支援のほどお願いします。



〈千代田町ものしりクイズ〉

問 千代田町には、いくつの橋があると思いますか。(4m未満のものは含まない) (イ)約128 (ロ)約198 (ハ)約257

11月1日午後7時より

文化講演会

日本文化の源流を尋ねて

講師 小山敦子先生

この春、中央公民館主催文学講座「源氏物語入門」で多数のファンを得た先生がこの秋、数カ月のアメリカ生活を経て帰国、その足で語る日本文化と西洋文化そして、地方文化……



茶道クラブより

前原百合子

静寂な夜のとぼりの中で、湯のたぎる音、茶筌さばきもあざやかに茶が点てられ、一口するあの醍醐味は、一瞬でも心がなごんでゆたかになります。

万事気忙しいことばかり、とかくお互いに疎遠になりがちな昨今、一服のお茶から素直な心、おもいやりの心を学ばせて頂いております。立居振舞がすっきりして女らしく？なってくればと願っています。

毎年文化祭にお手伝いさせて頂いております。

皆さまにすこしでも、うるおいのひとときをと、心こめてお茶を点てさせて頂きます。ぜひお立寄りくださいませ。

11月2日午前9時より

《当日祭》

プログラム・発表 団体

- 9:00～ 開会式
- 9:30～ 銭太鼓 (春木だるま会)
- 10:10～ 民謡 (森脇昭幸氏他)
- 10:50～ 居合道 (千代田体協居合道部)
- 11:30～ 尺八と琴 (都山流尺八同好会と中野社中)
- 12:10～ 詩吟 (老人クラブ)
- 12:50～ 銭太鼓 (壬生銭太鼓クラブ)
- 13:30～ コーラス (中央公民館コーラスクラブ)
- 14:10～ ちびっこステージ (ちびっこのど自慢他)
- 15:10～ 劇「まぶしさに向って」 (壬生青年会)
- 15:50～ 閉会式



銭太鼓

春木だるま会 小山春枝

昭和55年3月20日だるま会会員12名で発足して以来、月2回の練習で、最初は、これは大変なことだと感じたものですが、

皆んを一生懸命に練習を重ねて、やっと一通り出来るようになりました。上手下手はさておいて、部落のコミュニケーションと、健康を兼ねて、長く続けて行きたい所存です。

千代田民謡同好会 森脇昭幸

「民謡は心のふるさと」といわれます。心から民謡を愛し、その詩と曲のルーツを探り、歴史的背景と当時の民族、風景をしのび唄う、そこに人生の喜怒哀楽が表現できるものは、やはり民謡ならではの感じがします。それが昨今にみられる全国的な民謡ブームといった形で表われたゆえんかも知れません。



私等、この同好会は昨年春に発足し、現在、本地支部と八重支部があります。趣味を同じくするものが一同に集い、お互い心の底から声を張上げての練習は、日頃の仕事疲れも忘れ和気あいあいのうち楽しくひとときを過しております。

声を出すことは「美と健康」にもっともよい方法といわれております。みなさん大きな声を出して唄いましょう。

居合道

居合の極意とするところは、常に鞘の中に勝を含み刀を抜かずして天地万物と和するところにあり。換言すれば武徳の修養であるが、形より心に入り業に依って心を養うとの古人の教えの如く、居合は日本精神の象徴と信ずる日本刀の威徳によって、正しき刀法と身体の運用を極め、業形を脱して心剣一如動静一貫の妙所を悟り、而して枝の末節に捉わること無く常に武道を一貫する大和の精神を忘れず、刀に対しては最も敬虔の念を以てし、終生不退の錬磨により神武の位を得ることに努め、而して日夜それぞれ与えられた自己の天職に尽すことは、即ち武徳を發揮する所以にして、実に居合の神髓と信ずるものである。同好の士よ宜しく斯道の錬成さるるに及びては技の末を追わず、その根元を糺し技の精妙を競わんよりも技により己が心を治め明日の円成を期すべきである。



尺八と琴

尺八・琴は日本古来の伝統芸術であり、その調べは優雅で美しく、時には荘重さえなります。又その音色は心をなごませ、身体を洗い清ませてくれるものがあると思います。

私達の文化祭への参加は自分なりの芸術への精進を少しでも確かなものとし、そして明日への実り多きものとして芽ばえさすためと考えております。その気持は今年の文化祭のテーマにも通じると思います。

蔵迫の中野社中（琴）の方と合奏いたします。曲は三段の調（久本玄智作曲）・秋の歌（野村正峰作曲）です。

尺八 森脇・越・上西・新出

琴 中野・伊藤・小林・海口・国田・佐々木・井木・河田



詩吟

老人大学のクラブ活動として詩吟クラブが発足してもう5年になる。当時20名余りだったのが現在40名となり、大学開講日の午後、広島赤井溶山先生の指導も受けて全員が思誠流赤心会に入会し、すでに中伝に達した人もあり、その成果は老人大学の発表会や町文化祭に発表している。

大学開講日の午後だけでは物足りないとあって、折々は憩の家に集合して練習している。



銭太鼓

ふとしたきっかけで銭太鼓を習おうと言う声が高まり、1月下旬に20名の会員で始まりました。八重今田の中本先生にご無理をお願いして、月2回ご足労して懸命に教えて頂きました。3月の初めには、出羽から大先生を迎えて特訓をして頂きました。丁度3月29日私達の部落にコミュニティセンター親和荘が建築され、落成のお祝いに銭太鼓で賑やかに花を添えさせて頂き大好評を得ました。その後は毎月第2火曜の晩、親和荘に集り、練習をした後いろいろ雑談して、ささやか乍らもコミュニティづくりに協力し毎月の集いが楽しみです。又この度、更に大きくなって千代田町の文化祭に出演出来ることは、会員一同大変嬉しく今後益々和を大きくしたいものと考えております。



コーラス

さあ、歌いましょう。心の底から思いっきり歌いましょう。誰でも、いつでも、自由に参加できるコーラスの集いです。パパもママも、それに若い人ももちろんです。

みんなでいっしょに歌い、ときには踊り、唱歌から、フォークソング、ニューミュージックまで、岡谷佳代子先生を囲んでの歌声は公民館の視聴覚室いっぱい輪にひろがってゆくのです。もう、3年も続きました。みんなで歌えば、テレ屋さんのあなたも、歌嫌いのあなたも、じっと座ってはいられないはずですよ。

これまで、月1回の練習日でしたが、本年度は月2回とし、次の通り行ないます。

第2水曜 午前9時半～正午 第4月曜 午後8時～10時



〈千代田町ものしりクイズ〉

問 千代田町の田んぼの総面積はいくらだと思いますか。(イ)18.62km² (ロ)19.28km² (ハ)21.35km²

本地青年会

現在、千代田町では年々若者が減少している傾向にある。我々本地青年会もこれにもれず、10数名の会員で細々と活動しています。

なぜ若者が少なくなるのか、その大きな原因としては、若者にとって魅力のある職場がないのではないか。学校を卒業して、自分の個性、特技を生かせる仕事を見つけ



八重東青年会は、会員約20名程ですが、実質活動人員は10名にも満たず、ここ2～3年は活動も低下しています。これは青年会活動に対する魅力が薄れてきていること、リーダーシップをとるべき役員のカ不足などがあると思います。昔のようにレジャーの少なかった時と違い各青年の活動範囲が広がってきているし、就職が必ずしも町内でできないために町外へ通勤している人も多く青年会活動が夜や日曜日などが主体となるために参加できにくい実態もあると思います。今後は、魅力ある青年会にするために現在の青年会活動のあり方について反省し、どのようにすればいいかを考えなければいけないかもしれない。ふりかえてみれば、いままで八重東青年会独自の活動が少なかったもので、これからは、地域の住民との交流を深め、婦人会や子供会などと交歓をもちながら今までと違った活動がもてればと思う。こう書いてきても、これを実行に移すとなるとなかなか困難である。青年会活動に興味を持ち、これから青年会に入会される若く新しい血に期待したい。私たちと一っしょにスポーツをして汗を流し、これからの青年会をリードしてくれ

八重青年会



ようと思えば、どうしても町外に出ざるをえない現状の千代田町。

やはり我々青年は、働く場所がほしい。昨年、中国縦貫道が開通し、千代田にインターチェンジが出来た。それによって千代田の町が、どう変わるかと期待を持って待ち望んだが、残ったものは、ただ車の量が増えただけ。なぜインターチェンジを作ろうとしたのか。

今からの千代田町、せっかく出来たインターチェンジが生かせるよう企業の発展等、移り変わることを望みたい。また、千代田のメインである農業も忘れてはならない。コンバインの導入等機械化はかなり進んでいるが、これとは逆にほ場整備は、相当立ち遅れている。

ふり返ってみると、千代田町も年々良くなりつつあるが、こういった問題点が、まだまだ取り残されているのではないか。

今回私達は、本地を少しでも知ってもらおうと「本地史跡めぐり」を作成し、展示しました。

現在、本地青年会は少ない会員ですが、少人数ながら楽しい雰囲気、誰でも気軽に参加出来るよう、すばらしい青年会に一致団結して盛り上げていくよう頑張りたい。

八重東青年会



る若い人たちの加入を望んでいます。八重東青年会に限らず各地区の青年会にぜひともはいて活動を盛り上げてほしいと思います。

本年度の青年会は「交流」という目的で、温木青年会とバレーボール、また、キャンプといった型で、交流の場を持ちこれからの青年会活動のふみ台として歩み始めました。

また、夏の盆踊り大会では各地域の民踊クラブと婦人会の協力によって、また新しい盆踊り大会が出来ました。

こうして我々の青年会は広い地域の皆様方の交流によって青年会活動の輪を広げることが目的に、これからの青年会を築きあげようと努力しています。

ふりかえれば……

40名近い人数で活動していた。青年会も今は半数近くになってしまいました。その原因は青年会という場所に青春をぶつけるだけの魅力がなくなったのだと思います。

そのためにも、交流の場を持つことによって青年の輪を築き上げようとしています。



川迫青年会

昭和29年5カ町村が合併し千代田町となる以前一今でこそ川戸地区、蔵迫地区と2つの地区に分かれていますが一川迫村として長い間、一つの行政区として存在していました。今ではほとんど呼ばれることなくなったこの『川迫』という名称を受け継いでいるのが、川迫青年会です。

ふりかえれば、私たちの青年会も最初から川迫青年会として存在したのではなく、川戸青年会、蔵迫青年会と別々に活動していたのです。ところが両地区に住む青年の人数が、一方が多いときは他方が少く、青年会としての活動ができないといったことが、幾度か繰り返され、それではということで川迫青年会として手を取り合っていくとお互いに気持を確認し、今に至っているのです。こうしてすんなり一つになれたのも川迫村としての長い歴史があったからこそだと思います。

そして今、私たちの青年会が誇れることは、何をしてもすぐに一致団結できるということ、笑い声が絶えないということ、みんなスポーツが大好きだということ、宴会が好きだということ、ときには頭をひねってむずかしい顔をして青年会のことをいろいろ考えることもあるし、そしてバカになることもすぐ…明るく、一人一人の気持を大切にしていける青年会だということです。



南方青年会



今回の文化祭テーマ「ふりかえれば……そして明日へ」とかく明日の姿を頭へ描きたくなる私達は、過去から現在にかけての知識を、どれだけ持ち合わせているだろう。知っているようで、知らない、わかっているようで、わかっていないことが、少なくないでしょう。身近な事では、昨年、千代田IC開通という大きなニュースがありました。昨年のこの頃とでは、中国自動車道に対する考えは、私達でどんな変化があったでしょう。明日のことを考える時に、古い知識を知り現在を見つめることは、新しいことを、知る上では、必要なことであり、将来のことを考える、土台となるでしょう。南方青年会では、去年「南方百年の歩み」を、展示しました。しかしそれが、去年だけのことで終わってしまったら、私達も忘れて行くでしょうし非常に寂しい気がします。そういうことから続編という形で、資料には残っていない、いい伝え等からも、広くにわたって、昔を、たずねてみるものが出来たらと思っています。又今年は、青年だけの発表展示という格好にならないよう、パンフレット等で、出来るだけたくさんの人に見てほしいし参加してもらえよう南方青年会一同頑張ってください。

壬生青年会



ふりかえれば……そして明日へ

それを確実に千代田の未来へつないで行けたら、しかも千代田町町民全員でそうして行けたら、まぶしい千代田になれると思います。

壬生青年会は、文化祭にかなりのウエートを置き、劇で壬生のカラーを出そうと思いき、皆んな真剣に取りくんで来ました。その内容に、千代田インターチェンジを取りあげました。

私達と一緒に千代田を考えて行こう。そう呼びかける劇です。

皆んな考えて行く必要があると思います。

そうしなくてはいけない所まで千代田は来ていると思います。

立ち上がって下さい。見たくありませんかまぶしさを!!

〈千代田町ものしりクイズ〉

問 千代田町内の農家一戸当り、平均いくらの田んぼを所有していると思いますか。(イ)53.6a (ロ)67.4a (ハ)71.4a (1反=10a)

米まっりの部

〈主旨〉「おいしい千代田米」をテーマに、農業者の良質米生産意欲の高揚と、米の消費拡大を目的に町民が皆で楽しめる祭りにより心ふれあいを求める。

本年度、文化祭と合同の形をもって第一歩をすすめます。皆様の参加のもとますます意義あるものにしたいたいです。

千代田町婦人会の目的と重点目標

私達婦人会は地域婦人団体の連絡機関とし、その共通の目的たる婦人の教養と地位の向上、青少年の健全なる育成、家庭生活並びに社会生活の刷新、地域社会の福祉の増進を図る事を目的として発足した婦人会組織でありまして次の行事を実施し、明るい住みよい千代田町作りに努力するつもりであります。

千代田町婦人会の重点目標

1. 婦人の教養と地位の向上
1. 青少年の健全なる育成
1. 家庭生活並びに社会生活の刷新
1. 地域社会の福祉の増進

千代田町農協婦人部の目的と重点目標

千代田町農協婦人部は、農村婦人相互の連絡を図り、農協関係・各機関と提携して、農村婦人の教養を高め社会的経済的地位の向上をはかり、明るい農村を築くことを目的とする。

55年度は農村にとっては、一層きびしさが予想され、限られたエネルギーの時代に対応して、省資源節約による貯蓄の推進・家庭菜園の拡充・健康管理を3本の柱に重点目標とする。

生活改善グループ

1. 自分のくらしをよりよくしたい人達の自主的な集まりです。
1. くらしや農業をよりよくするために必要な計画をもって活動しています
1. 身近なことから1つ1つ勉強し実行してゆきます。

① あゆみグループ(千代田町移原)

グループ員 14名
リーダー 石井イサミさん
活動を始めてからの年数17年
今年の活動内容は、自家生産物の上手な活用

② はぐるまグループ(千代田町三日市)

グループ員 7名
リーダー 津田政美さん
活動を始めてからの年数15年
今年の活動内容は、自給物を上手に活用して豊かな食卓づくり

③ むつみグループ

グループ員 7名
リーダー 藤石みどりさん
活動を始めてからの年数17年
今年の活動内容は、自家生産物の上手な活用

千代田町農協青壮年連盟

委員長 中野芳信

今農村をとりまく状況は、水田再編に名をかりた米の生産調整、貿易不均衡に名をかりた海外農畜産物の輸入外圧と、まさしく内憂外患のきびしい状況下にあります。どれひとつみても国民食糧をどうするかという民族の基本的選択にかかる超政治的決断が要求される課題であると同時に、我々が単に経済的、技術的に努力改善しても解決出来ない国民的合意を要する課題でもあります。しかし、我々農村に生き農業で生きていこうとすれば、これらの課題を回避して通る訳にはいかない。農業経営の安定を軸にした基本農政の確立を、強力に政府へ要請しなくてはならない。我々は、農青連の旗の下に結集し、少数ながらも地域社会のみならず生産組織のリーダーとして情勢打開のため方法を模索し、一致団結して力強く運動の展開をしていくことの必要性が指摘されます。

活動内容

- ① 基本農政確立を中心とした農政活動の展開
- ② 組織強化営農の高度化について盟友対象に合同研究の実施
- ③ 農協事業の積極的提言
- ④ 先進地の視察
- ⑤ 農畜産物の消費拡大運動実施

以上を活動の内容として、伝統と歴史に裏付けられた新しい農青連運動の創造と発展に取り組んでいます。

酪農協牛乳・ゲンキ牛乳

中国山地に霧が流れて夜が明けはじめる頃、牧場ではもう仕事をはじめます。数多くの乳牛から選ばれた牛乳は厳選し、新鮮さをそのままに、勿論成分も無調整のまま、衛生的に殺菌処理して皆様にお届けしています。

広島県北部酪農協は広島県北部の山県・高田・双三の三郡と管内として、130名の組合員が2500頭の乳牛を飼い、飼料の生産から、牛乳の販売までを行う、酪農の専門農協です。

毎日生産される牛乳は約25トンで、その内8トンを市乳（酪農協牛乳、ゲンキ牛乳）として販売します。残る17トンはタンクローリーで広島市内の乳業メーカーに原乳として販売しています。売上高は市乳で4億円、原乳代金9億円です。

千代田町内では23名の組合員が500頭の乳牛を飼い、年間1億8000万円の乳代の売上げをしています。

千代田町商工会青年部

部長 中野一雄

千代田町商工会青年部は、昭和43年に発足し、現部長が9代目となっております。発足の主旨は、町内商工業者の若手育成であり、当時は事業後継者の内、独身者のみを対象に部員を募集し、10名余りで発足いたしました。途中で退部する者、入部する者があり現在22名が青年部に在席しております。

青年部の目的は、商工会の本旨に則り新しい町づくりを主眼に清新強力なる実践活動により、旧来の悪い因習を打破し、現代に即応した商工会の体質改善を図り、千代田町の商工業の振興発展の先駆となることとあります。今年は特に「意識の向上と団結」を目標にかかげ、部員同志が助け合いをしながら難問題に挑戦いたしております。

また、私達若い者には全町一体という意識が強く商工会に今なお残っている、旧町村時代の遺物であります支部制の廃止により一本化した「新生商工会」こそが私達の理想であります。今後共、バイタリティあふれる実践活動により、微力ではありますが地域文化の向上のため、新しい町づくりのため、その一端を担い私達の存在価値を認めていただくよう部員一同努力いたす覚悟であります。

千代田町農業問題研究会

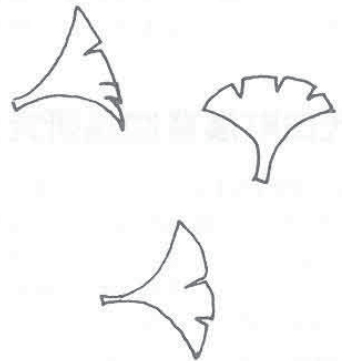
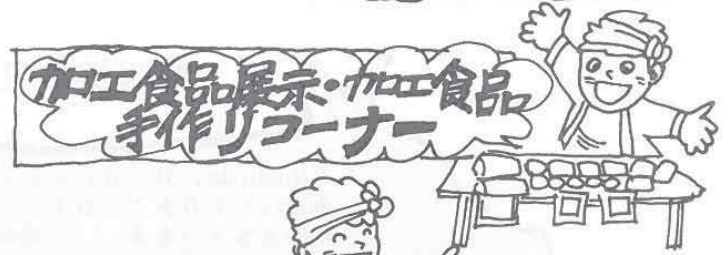
会長 吉国豊行

昭和44年10月に発足以来、早や10数年を経過し時の流れの早さを考えさせられる今日、会員17名は、農業の自立経営の確立と地域社会における農業後継者の育成、確保と仲間づくりを目的に、混迷した農政に対応しなければならぬ現実です。しかし、経営規模の拡大、維持をすることは、常に自己の農業の基礎、基盤を忠実に実施することであり、千代田町の農政の理想を見うしなうことなしに努力することであろうと思います。これからは会員一同一層ハッスルしますので、よろしくご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

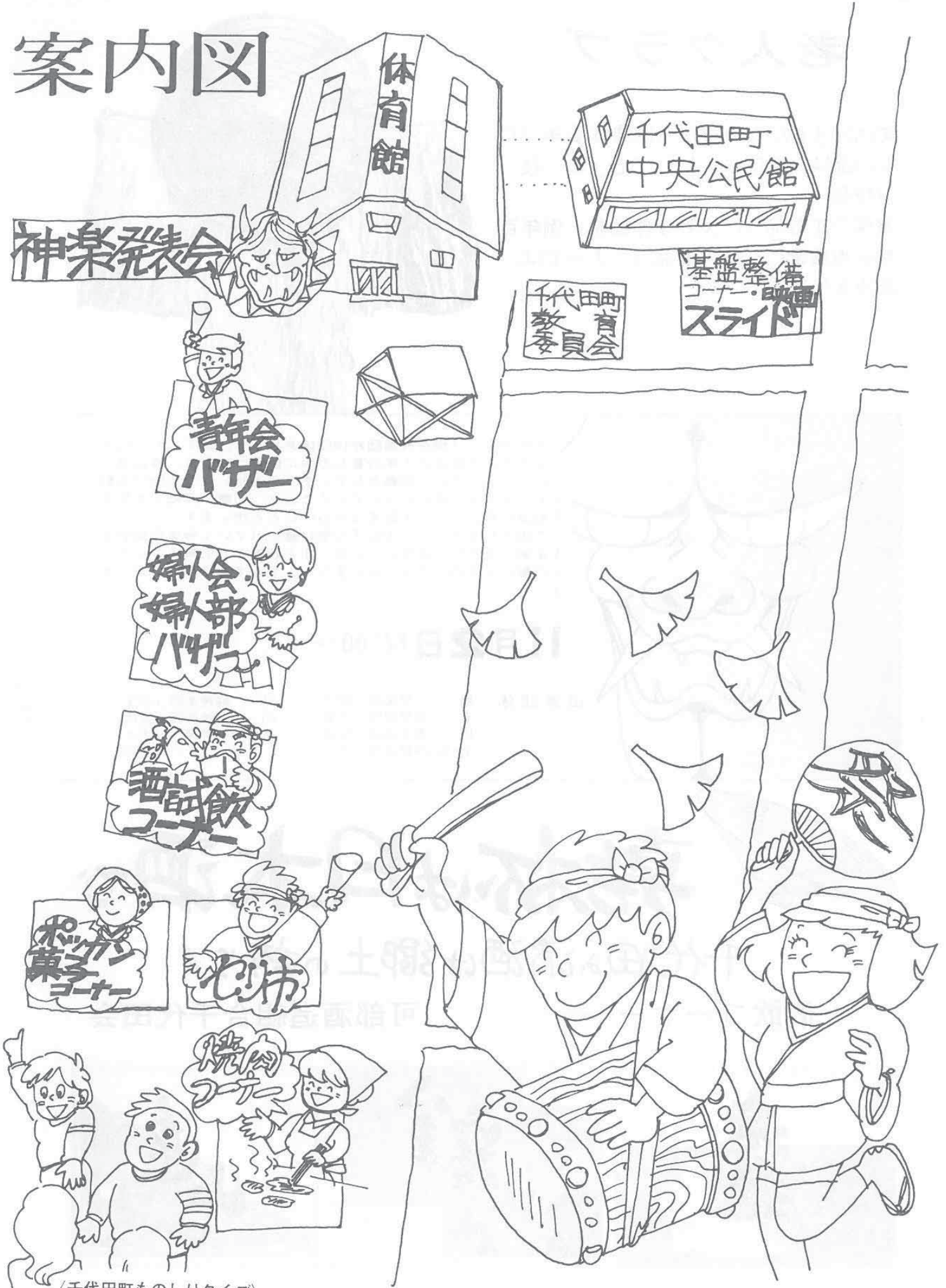
〈千代田町ものしりクイズ〉

問 千代田町では、専業農家は、農家全体の約何%と思われますか。(イ)5.6% (ロ)8.4% (ハ)11.3%

米まつり会場



案内図



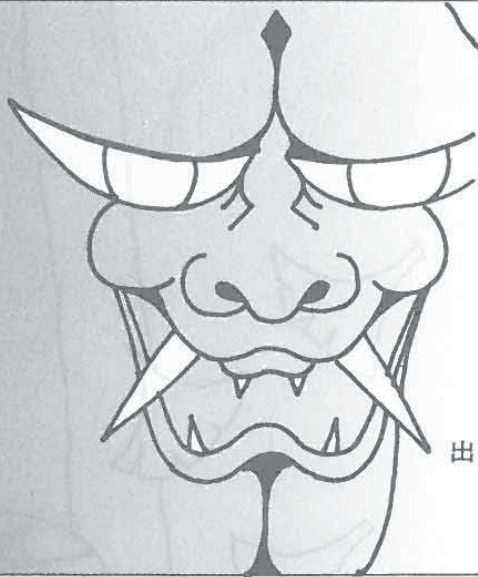
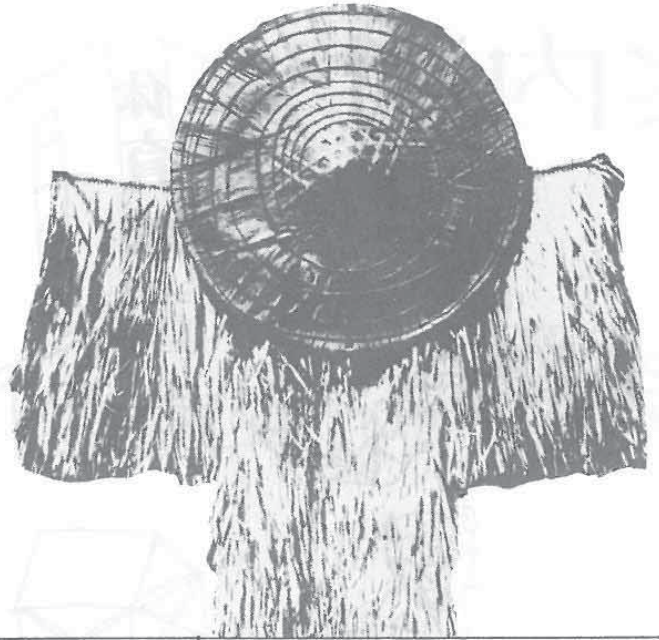
〈千代田町ものしりクイズ〉

問 千代田町内を走っている道路（国道・主要地方道・県道・町道）の総延長はいくらになると思いますか。
 (イ)約126.15km (ロ)約245.87km (ハ)約321.46km

老人クラブ

町内20支部のクラブから出展する手づくりの品は、今に伝えたい「心」と「技」の作品。

書画や工芸品など多彩な作品を、例年百数十点展示し、わら製品コーナーでは、即売をします。



千代田町には現在神楽団が18団体あります。育てられ、伝えられた神楽が私達の1年の暮しの中に位置づけられ、時には一つのコミュニティ活動として、またある時には文化財の活動としてますます盛んになっていくことは、心豊かな郷土をめざす私達の町にとって大変すばらしいことと思います。

このたび米まつりの中にその受け継がれていく神楽の発表会を企画しました。神楽について、また新舞とか旧舞とかについてご覧になるみなさまと共に楽しみ、学んでゆきたいと思ひます。

11月2日 17:00~

出演団体	旭 神楽団 (南方)	砂 庭神楽団 (壬生)
	有 田神楽団 (八重)	山 王神楽団 (本地)
	川 東神楽団 (壬生)	本地中組神楽団 (本地)
	上 川 戸神楽団 (川戸)	(アイウエオ順)

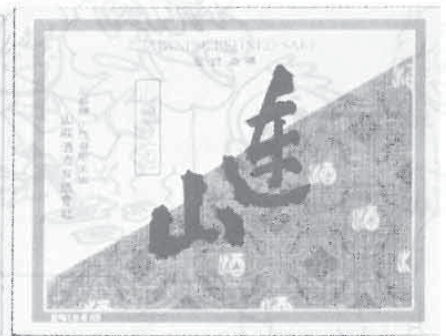
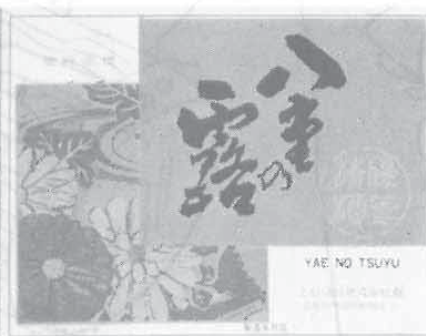


乾杯は日本酒で

千代田の清酒は郷土の誇り!

— 酒飲コーナー —

可部酒造組合千代田会



文化祭実行委員会

実行委員長 西原 俊行
副委員長 菊川 敏
田村 誠

企画 西村 修郎
○隅中 竜博
榎本 克則
横道 修宗
春田 法昭
小林 康彦

広報 ○対馬 竜二
三宅 利就
田中 正貴
佃 郁江

パンフレット 橋詰 俊博
中田 一成
栗原 正己
宮野 智実
畑田 朱美

パネルディスカッション ○清水 勇二
築根 建
佐渡 宏治
箕野 博司
出張 直美

会場・展示 ○沖田 義範
山崎 秀幸
山口 克也
原 信行
梅木 長子

会計 梶原ひとみ



編集後記

わが郷土を愛し、わが町を愛す。そして、この町に住む自分自身を愛す。

今年は過去8回の歴史をふり返り、より具体化した意見をもとに文化祭そして米まつりを進めてきました。

今現在、町の転換期、一番大切な時期だと思っています。町発展のためには、皆様の御意見、御指導を受けたまわり町全体一体となり考えていく必要があると思います。

こんな実行委員会に対し、不平もこぼさず、援助ご協力くださいました皆様、また町民の皆様に、あつく感謝しております。

どうもありがとうございました。

●千代田町中央公民館
コミュニティー協力員

伝えられ . . .
築かれたものへの誇りが
郷土への愛
私達
子や孫たちへ未来を創るのも
郷土への愛

1980